

## 国際化学肥料ニュース（2010年9月）

### 肥料業界の2010年9月動態

- \* 9月20日、IFA（国際肥料工業協会）の事務局長 Luc Meane 氏は中国北京に開催された第4回「土壌と植物におけるりんの挙動」会議に、2010年～2014年までの4年間、世界のりん酸肥料過剰量が200万トン（純P2O5計算、以下同）から300万トンに増大すると述べた。

IFAの統計データによると、1962年から2007年までの45年間に、世界のりん酸肥料消費量は1,100万トンから3,860万トンに増加し、中国、インド、ブラジル、アメリカ及びEU諸国の消費量は世界総消費量の71%を占める。また、MAPとDAPの使用量が急速に増加し、全りん酸肥料に占める比率は14%から47%に増えた。2008年現在、中国は世界最大のりん酸肥料生産国で、世界生産量の33%を占め、アメリカ（18%）、ブラジル（7%）、チュニジア（7%）の順となった。DAPについて、その生産量は2010年の3,100万トン（実物、以下同）から2014年の3,700万トンに増加し、消費量も2010年の3,000万トンから3,400万トン増加すると予測される。なお、2014年のDAP生産能力は約3,900万トンと予測される。

- \* 中国税関の統計データによれば、7月の尿素輸出数量は30.95万トン、昨年同時期より66.7%増加した。また、7月のDAP輸出数量は74.66万トン、昨年同時期より173.5%急増した。なお、正式のデータではないが、6月1日～8月31日までのDAP非需要期間中に約200万トン、7月1日～9月15日までの尿素非需要期間中に約120万トン輸出されたと推計された。
- \* ベトナム財務省は8月19日に部分輸入肥料の関税を引き上げる予定を発表した。詳細内容はりん酸系肥料、NPKを含む化成肥料の輸入関税は5%から6.5%に引き上げる。通商省、農業と農村発展省、ベトナム肥料協会の意見を聞いてから実施する。
- \* ロシア政府経済発展省高官は9月16日に加里肥料に輸出関税を徴収する可能性を言及した。ロシア経済発展省は現在、塩化加里の国際市場価格の変動を調査し、適宜の時期に輸出関税を徴収するか否かを決定する。
- \* インドは1～8月にDAP輸入量が426.9万トンに達し、昨年同期より109.4万トン増加した。また、国内販売量は475.2万トンであった。
- \* 9月も肥料の価格上昇傾向が続いている。6月末と比べて、尿素90～110ドル/トン、DAP100～150ドル/トンも値上げされた。その原因は天候不順で、国際市場での食糧

価格が急上昇で、各国が食料増産のため、肥料の使用量が増えるとの観測。すでにアメリカやブラジル等の肥料輸入量が急増する。

#### 大手各社の営業業績

- \* ブラジルの Fosfertil 社は 2010 年上半期の業績を公表した。1～6 月の肥料販売量は 99.7 万トン、内訳はりん酸肥料 72.8 万トン、窒素肥料 23 万トン。売上高 5.07 億ドル、純利益 3900 万ドル、昨年同期より 15%減。なお、2010 年 1～6 月ブラジル全国肥料販売量は 860 万トン、昨年同期より 4.2%増えた。
  
- \* アメリカ Intrepid 社は今年上半期の営業業績を公表した。売上高 1.7168 億ドル、純利益 1550 万ドル。昨年同期の売上高 1.6229 億ドル、純利益 3912 万ドル。純利益減少の理由は加里の値下げによるところが大きい。
  
- \* ヨルダン加里（APC）は今年上半期の営業業績を公表した。売上高 3.85629 億ドル、粗利 1.64059 億ドル、純利益 1.154334 億ドル。塩化加里生産量 83.4 万トン、販売量 99.6 万トン。また、硝酸加里とりん酸二カルシウムを 5.63 万トン販売した。なお、塩化加里の平均販売価格は 364 ドル/トンであった。

#### 9 月の大口契約と輸出：

- \* 国際市場におけるりん酸肥料の価格が堅調である。エチオピアは 30 万トンの DAP 入札を行ったが、100 万トンの応札あり、応札価格が CFR587.74～669.44 ドル/トンである。ヨルダン JPMC 社は FOB530 ドル/トンで 25 万トン受注した。
- \* モロッコ OCP 社は FOB520 ドル/トンで DAP を Yara 社経由で輸出した。また、FOB510～520 ドル/トンで南米に 17 万トンの DAP と MAP の輸出を契約した。一方、ヨーロッパおよびアメリカにそれぞれ 10 万トンの DAP 輸出契約をも締結した。まだ 10 万トンの在庫がある。
- \* Quantum 社は CFR540 ドル/トンで 2.5～3 万トン DAP をパキスタンと契約した。
- \* Keytrade 社は中国産 MAP2.7 万トンをブラジルに輸出した。
- \* チュニジア GCT 社は 9 月生産分の DAP がすべて契約済、FOB520 ドル/トンで東南アジアに 3 万トン、トルコに 7 万トンを輸出する予定。また、FOB535 ドル/トンで 6 万トン DAP、FOB410 ドル/トンで重過石をイランに輸出した。未確認だが、10 月から DAP を値上げ、FOB560～565 ドル/トンでアメリカに 1 船を輸出予定、570～580/トンでトルコと契約した話もある。10 月 DAP 生産予定分はすでに大半予約済み、残りは 10 万トンしかない。
- \* 中国産 DAP の最新価格は FOB500 ドル/トン、10 月 16 日から非需要期に入り、7% 輸出関税が実施される。輸出契約の動きが盛んに行う。

## 肥料プラント新規建設

### その他

- \* インド・オマーン政府間経済貿易委員会はオマーンがインドの化学肥料産業に 30 億ドルを投資することを発表した。
  
- \* IFDC (国際肥料発展センター、International Fertilizer Development Center) は世界のりん鉱石採掘可能埋蔵量が約 600 億トン、また、利用可能のりん酸塩類を含む岩石が約 2900 億トンという報告を発表した。現在のりん酸肥料需要量で計算すれば、数百年の需要に満たすことができる。数年前、アメリカ政府の地質調査局は世界のりん酸鉱石採掘可能埋蔵量が 160 億トン、現在年間 1.7 億トンの採掘量では採掘可能年数が 100 年未満と発表した。今回 IFDC が発表した数値はその 3 倍以上。  
また、世界の大手りん酸肥料メーカーはモロッコの OCP 社 (Office Cherifien de Phosphate)、中国の雲天化グループ (YTHGR. UL)、ブラジルのヴァーレ社、サウジアラビアの Saudi Arabian Mining Company、北米の Agrium 社、Mosaic 社など。
  
- \* BHP ビリトンが世界最大加里肥料生産メーカーのカナダ Potash Corp 社を買収する動きについて、BHP ビリトンは 9 月 20 日に株買取期限を 10 月 18 日から 11 月 18 日に延期することを発表、理由はカナダ政府がその買収に関する情報を追加提出するよう要求したためである。また、9 月 22 日、Potash Corp 社は BHP ビリトンの買収に詐欺行為があるとしてアメリカのシカゴ地方裁判所に提訴した。9 月 23 日、BHP ビリトンは買収がアメリカ連邦貿易委員会の許可を得たと発表した。